

財務諸表等の要約

■貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部				
科目	17年度 (H18.3.31)	18年度 (H19.3.31)	19年度 (H20.3.31)	増△減(前年比較)
固定資産	355,335	352,580	367,800	15,220
土地	165,894	166,005	166,005	—
建物*1	144,715	150,794	166,000	15,206
減価償却累計額	△22,506	△32,705	△40,267	△7,562
構築物	12,611	13,357	13,776	419
減価償却累計額	△1,872	△2,595	△3,291	△696
減損損失累計額	—	—	△1	△1
工具器具備品	34,722	44,435	55,706	11,271
減価償却累計額	△16,374	△25,456	△32,852	△7,396
図書*2	30,787	31,307	31,842	535
美術品・収蔵品	726	726	726	—
建設仮勘定*3	207	227	3,570	3,343
特許権*4	13	19	30	11
借地権*5	1,205	1,205	1,205	—
ソフトウェア	402	313	270	△43
投資有価証券*6	4,340	4,281	4,205	△76
その他	461	664	873	209
流動資産	36,624	44,989	49,257	4,268
現金及び預金*7	29,845	37,652	6,482	△31,170
未収学生納付金収入	234	231	239	8
徴収不能引当金	△73	△68	△70	△2
未収附属病院収入	5,076	5,109	5,141	32
徴収不能引当金	△318	△370	△398	△28
未収入金	233	622	969	347
徴収不能引当金	—	△0	△0	—
有価証券*7	1,005	999	36,001	35,002
たな卸資産	26	24	25	1
医薬品及び診療材料	560	493	399	△94
その他	34	294	466	172
資産合計	391,959	397,569	417,057	19,488

注)百万円未満を切り捨てているため、合計額が一致しない場合があります。

(※1) 平成19事業年度の施設整備事業としては、(中央)総合研究棟(人文系)等の改修、(吉田)耐震対策事業などを行っています。また、船井哲良氏のご寄附により船井哲良記念講堂・船井交流センターが完成しました。

(※2) 平成19事業年度は、約3万冊、約5億円の図書を取得しています。

(※3) 建設中である建物や構築物などに係る、建設資材の購入費用や手付金など、その資産を取得するための支出額を計上するとき使用する科目のことで、寄附病棟の新築などにより、約33億円増加しています。

(※4) 特許申請に要した経費を資産計上しています。

(※5) 研究林、地震観測所等に係る地上権です。

(※6) 資金運用を行っている国債です。

(※7) 平成18事業年度において「現金及び預金」に含めて表示しておりました譲渡性預金(約350億円)は、平成19事業年度より「有価証券」に含めて表示しております。

(単位:百万円)

負債の部				
科目	17年度 (H18.3.31)	18年度 (H19.3.31)	19年度 (H20.3.31)	増△減 (前年比較)
固定負債	91,775	90,494	97,421	6,927
資産見返負債 ^{※8}	49,026	49,799	56,906	7,107
センター債務負担金 ^{※9}	31,405	27,797	24,291	△3,506
長期借入金 ^{※10}	509	450	950	500
長期未払金	10,833	12,447	15,225	2,778
その他	—	—	48	48
流動負債	36,013	42,392	46,694	4,302
運営費交付金債務	1,926	3,421	3,338	△83
寄附金債務 ^{※11}	14,057	14,181	12,884	△1,297
前受受託研究費等	438	834	1,098	264
一年以内返済予定センター債務負担金	3,637	3,608	3,505	△103
一年以内返済予定長期借入金	18	58	58	—
未払金	14,233	18,046	23,356	5,310
その他	1,702	2,241	2,452	211
負債合計	127,789	132,887	144,116	11,229

純資産の部				
科目	17年度 (H18.3.31)	18年度 (H19.3.31)	19年度 (H20.3.31)	増△減 (前年比較)
資本金	244,529	244,529	244,529	—
政府出資金	244,529	244,529	244,529	—
資本剰余金^{※12}	9,199	4,617	8,008	3,391
資本剰余金	30,844	36,040	46,635	10,595
損益外減価償却累計額	△21,644	△31,417	△38,620	△7,203
損益外減損損失累計額	—	△5	△6	△1
利益剰余金	10,440	15,534	20,403	4,869
教育研究等積立金 ^{※13}	2,407	5,457	6,562	1,105
積立金 ^{※14}	3,710	4,983	7,587	2,604
当期末処分利益 ^{※15}	4,322	5,094	6,252	1,158
純資産合計	264,170	264,682	272,941	8,259
負債・純資産合計	391,959	397,569	417,057	19,488

(※8) 資産見返負債とは、固定資産を取得した場合に相当する財源を振り替え、当該資産が費用化(減価償却費)される時点において資産見返負債戻入として収益化する会計処理のための勘定です。

(※9) センター債務負担金とは、国立大学財務・経営センター債務負担金のことであり、法人化の際に国立学校特別会計から承継した長期借入金です。

(※10) 附属病院の設備購入のため、法人化後、国立大学財務・経営センターから借り入れたものです。

(※11) 寄附金債務とは、次年度へ繰越される寄附金の残高です。平成19事業年度は、寄附病棟建設に係る支出などにより、減少しています。

(※12) 施設費による固定資産の取得等の増(約106億円)と損益外減価償却累計額等の増(約72億円)の差額が当期の増加分となっています。

(※13) 平成16～18事業年度の利益剰余金のうち、経営努力認定(文部科学大臣の承認)を受けた目的積立金で、本学の定めた剰余金の用途に使用する予定です。平成19事業年度は約24億円を使用しました。(19年度の教育研究等積立金約66億円には、使用した約24億円のうち、建設仮勘定に係る約10億円を含みます。)

(※14) 平成16～18事業年度の利益剰余金のうち、経営努力認定(文部科学大臣の承認)外(資金の裏付けのない)の積立金で、損失の補填に充てるものです。

(※15) 当期末処分利益とは、平成19事業年度の利益剰余金で、収益から費用を差し引いた損益計算書の当期総利益の額と一致します。